



# 11月 保育所だより

令和5年10月31日

桑折町醸芳保育所

10月になると9月の暑さが嘘のように涼しくなり、同時に経済活動や社会活動も活発化して、各市町村では様々な行事が行われました。人が大勢集まるケースが多いため、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の集団感染があらこちらで発生しているようです。保育所においては単発的に感染者が発生するものの、集団感染には至っておりません。感染拡大防止にかかわる保護者の皆様のご協力に、改めて感謝申し上げます。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症とは別に、保育所ではRSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、ヒトメタニューモウイルス感染症と高熱を発する呼吸器系の感染症がクラス毎に流行しました。体の中に様々な病気に対する抵抗力（抗体数）が少ないためとマスクをつける等の感染対策を行えないのが原因であると考えられます。これから益々朝夕の寒さが厳しくなり、体調を崩すお子さんも出てくることと考えられますので、今後もお子様の体調管理へのご協力、よろしくお願いいたします。

さて、寒さとともに保育所では所庭の木々も色づいて、日に日に秋の深まりを感じるようになりました。子どもたちは、どんぐりを拾いに散歩に出かけるなど、秋ならではの遊びを楽しんでいます。また、本日（31日）遊戯室で「ハロウィンパーティー」を行いました。おばけ釣りやお面コーナー、おばけルームやお菓子の家、変身コーナーで楽しみました。子どもたちの活動の様子は、本日アップのホームページでご紹介しましたのでご覧ください。

## <今月の保育の目標>

### 0歳児

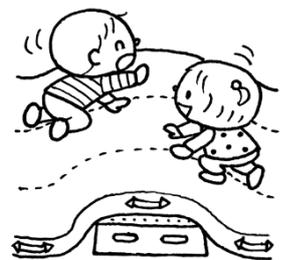
- 気候に応じた戸外遊びや散歩を取り入れ、身近な自然を感じられるようにする。
- 好きな遊びや探索活動を楽しみ、身体を動かして遊ぶ。

### 1歳児

- 自分なりに思いを表現しながら遊ぶことを楽しむ。
- 戸外遊びや散歩を通して、秋の自然に触れることを楽しむ。
- 保育者に見守られながら、好きな遊びを十分に楽しむ。

### 2歳児

- どんぐりや落ち葉などに関心を持ち、秋の自然物を使った遊びを楽しむ。
- 自分の好きな絵本を見たり、保育者に絵本を読んでもらったりすることを楽しむ。
- 簡単な言葉のやりとりをしながら、友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。



## <11月の行事予定>

- 7日（火）避難訓練（消防車が来ます）
- 15日（水）歯科検診 9:00
- 22日（水）幼稚園との交流会（来年度入園児）
- 30日（木）誕生会

**\*後日、歯科健診の保健調査票を配布します。  
13日(月)までに提出してください。**

## <12月の主な予定>

- 7日 楽しみ会(さ・ひ組)
- 8日 楽しみ会(ゆ〜た組)
- 19日 交通教室
- 21日 誕生会
- 22日 クリスマス会
- 25日 避難訓練
- 28日 保育納め



## < 保育所からのお知らせ・お願い >

### 【内科検診・尿検査結果】

○内科検診・・・医師の所見があったお子さんについては、個別にお知らせしました。それ以外のお子さんは、異常ありませんでした。

○尿検査・・・陽性及び量不足のお子さんには、個別にお知らせしました。それ以外のお子さんは、異常ありませんでした。

～お忙しいところご協力ありがとうございました～

### 【来年度の入所申込みについて】

1 1月中旬に令和6年度醸芳保育所入所申込書を配布します。来年度も入所を希望される方は、申込み期間内（11月下旬まで）に申込書を保育所へ提出してください。

また、来年度醸芳幼稚園へ入園予定の入所児には、醸芳幼稚園入園申込書を配布します。申込書の提出先は、醸芳幼稚園になります。

### 【ジャンパーのタグについて】

ジャンパーには、襟元（タグのあたり）に紐をつけていただくようお願いいたします。特に1歳児以上のクラスでは、自分で廊下のフックに掛けます。こどもが掛けられる紐の長さにしてください。

### < クラスよい >



【↑種徳公園を歩いて散歩】

### たまご組

天気の良い日には、できるだけ戸外に出るようにしました。高月齢児は、靴を履いたり、帽子をかぶったりすることにも慣れ、秋の空気を吸いながら、歩くことを楽しんでいました。室内では、マットを使って遊んだり、遊戯室まで行き、大きな滑り台に挑戦したりできました。季節の変わり目で、体調を崩してしまうこともありましたが、途中入所のお友達も少しずつ保育所の生活に慣れてきています。11月は、気温も低くなってくると思われますので、室内を暖かくして体調管理に十分気を付けて保育していきたいと思いを。

### ちゅういっぶ組

① 築山が人気です！！

10月は、天気の良い日が続き、所庭遊びをたくさん楽しむことができました。所庭に出るとみんなで築山へ。斜面をゆっくりと歩いて上り、下りはお尻をついてズルズルっと滑って下ります。少し前までは、怖くて一人で下ることができませんでしたが、何度も繰り返すうちに、安全な下り方を自分なりに学び、保育者の手助けがなくても一人で上り下りをして楽しめるようになりました！！

② どんぐりころころが上手です！！

「どんぐりころころ～♪」保育者がうたうと、歌詞に合わせて上手に手を動かす子どもたち。両手をグーにして、ぐるぐると回す姿が本当に可愛いです。おうちでもうたって楽しんでみてください！！



【↑築山を繰り返し上り下り】

## すみれ組

10月は、種徳公園や陣屋の杜公園に行ったり、おやつを持ってふれあい公園に行ったりしました。順番に担任と手をつないで歩きました。手をつなぐのを嫌がる子もいましたが、何度か手をつないで歩くうちに嫌がらずに歩けていました。

朝・晩と涼しくなり、体調を崩してしまう子がたくさんいたので、みんな元気になったら、散歩を楽しみたいと思います。



【↑ふれあい公園でよーいどん！】

## ゆい組



すっかり秋になり、過ごしやすくなりました。以前よりも長い時間所庭で遊んだり、少し遠くまで散歩に行ったりできるようになりました。散歩では、カートに乗りながら、風の心地よさを感じたり、保育者や友達と手を繋いで歩いたりしています。だんだんと歩くことが上手になり、少し長い距離も歩けるようになってきました。寒くなる前に、たくさん体を動かして、丈夫な体を作っていきたいと思います！

【←桑折駅で電車を見ながら、おやつタイム】

## ひまわり組

天気の良い日には、幼稚園の運動会の様子を見に出掛けたり、種徳公園や小学校、電車を見に散歩に出かけたりしました。種徳公園では、小学生のお兄さんやお姉さんたちと一緒に触れ合ったり、幼稚園では運動会の様子を築山から見て手を振ったりして楽しむことができました。お散歩リングに括まり、楽しそうに歩くひまわり組！11月も天気の良い日は、たくさん戸外遊びやお散歩に出掛けたいと思っています。

登所後の身の回りの始末では、保育者と一緒に進める中でそれぞれの場所に間違えずに出すことが出来るようになってきました。

【お散歩リングでお散歩します→】



## さくら組



【↑ 小学校の校庭でかけっこ】

遊びを楽しむ子が増えてきています。人気なのはお店屋さんごっこで「いらっしゃいませー」「くださーい」と自然と子ども達でやりとりをしながら楽しんでいきます。ごっこ遊びを通して、言葉のやりとりをしたり友達と一緒に遊んだりすることを楽しめるようにしていきたいです。

所庭ではちょうちょやトンボ、バッタなどの虫取りを楽しみました。テラスへ出ると真っ先に虫かごを持ち、ちょうちょがたくさんいる築山の裏へと虫探しに行っていましたよ。散歩にも出かけ、どんぐりや松ぼっくり、落ち葉や木の枝などを拾って楽しみました。友達と手をつないで歩いたり、道路を渡る時に手を挙げたりも上手になりました。今月もたくさん散歩にでかけたいと思います。

保育室、遊戯室、所庭…いろいろな場所でごっこ

### 家庭生活ポイント 「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・・より

#### 子どもの逆境に負けない力～レジリエンス～を育てる③

##### 問題解決力を育てる

感情を受け止めるとともに、その出来事を解決できる問題解決の力を育てていくことが大切です。感情のラベリングに加えて、深呼吸をするなどネガティブ感情を落ち着かせる方法を持つことがネガティブ感情に対応する力となります。ネガティブ感情に飲み込まれずに、「感情を調整する力」は、レジリエンスを育てる上でとても大切なスキルになります。怒って感情を爆発させ、物を投げつけたりする以外の解決方法を、「どう思う？どうしたい？」と一緒に考えると自分の考えを客観的に見る目を育てることもつながります。自分の考えを客観的に見る力は、「メタ認知」という力で、心を育てるためにも、学習に向かう上でも大切な力となります。

##### ポジティブな経験の積み重ねがエネルギーになる

幼児期のレジリエンスを育てていくためには、ポジティブな経験の積み重ねも重要な鍵を握っています。子どもにとってポジティブな経験を積み重ねることは、その子の心のエネルギーとなります。たとえ10分でも、他事を考えずに子どもとの時間に没頭して一緒に過ごすことも、親子のエネルギーを蓄えることにつながり、おすすめです。

##### 最後に

「生きるうえで最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある。」ネルソンマンデラ氏の言葉です。転んでも起き上がり続ける力を身につけることは、これからの変化の大きな時代に強力な強みになります。子どもたちが逆境に負けない「レジリエンス」を育み、幸せで心豊かな人生を歩くことができるように願っています。

出典：河合薬業株式会社発行 健康教育 2022年1月号